

# 保育の喜びコーナー

(2019年4月現在)

## 【未満児担当保育士】

### 保育士1

- ・1歳9ヶ月の男児がベランダから外を眺め「バーク バーク」と指さし訴えるが、なかなか伝わらず。私もその子が何を伝えたいのかわからず色々な言葉を出してみたが、その子は納得いかず。同じようなやりとりが数分続き、「バイク？」と私が聞くと、「うん！！」と納得し、笑顔になって「バーク」と答えてくれた時は、お互いに新しい絆が生まれたように感じた。



### 保育士2

- ・Sちゃん、Mくんが「シーチ」とウンチが出たことを教えに来たこと
- ・保護者が子供の成長を嬉しそうに話してくれたこと
- ・子どもが保育士の言っていることを理解しているのを感じたとき

### 保育士3

- ・おもちゃを投げるなど、危ないことをする未満児に、何度注意をしても聞いてくれない。  
2歳児の〇〇くんが「△△ちゃん！おもちゃ投げたらダメよー、痛いよー、やらないで！」としっかりした言葉で注意してくれた。  
△△ちゃんは、それを聞いておもちゃを投げるのをやめてくれた。  
その後、他の2歳児が次々とまちがいを見つけて注意してくれた。
- ・幼稚園組の男児が、ひよこ組のベランダに寝転んで「あ〜気持ちいい〜、ひよこ組さんはいいなあ〜  
こんなに上等なベランダがあって！僕たちの時はなかったよー。  
もう1回、ひよこ組になりたいよー。」  
その後、しばし1歳児クラスごろの「思い出ばなし」をしてくれました。

## 【1才児担当保育士】

### 保育士4

- ・雨上がり散歩へ出かけた時

水溜まりを見つけた子どもたち。その上に葉っぱを乗せ、

Rくんが「せんせーおふねみたい！！」と大喜び。

晴れの日の散歩もたくさん発見はあるけれど、雨あがりの散歩もたくさんの発見があった。

- ・お別れ遠足の日

「今日は雨だねー、残念だけど動物園には行けないね」と私。

Hくんが「恵みの雨だね！」と一言。

行けないことは残念だったけど、恵みの雨ととらえられることの子どもの素直さ、心の豊かさに嬉しかった。



## 【2才児担当保育士】

### 保育士5

- ・全体の声掛けの反応にはすぐには動けなかったRくんが、後半、自分から生活面（着替え等）行動して、ほめられると喜んでる姿を見ると、とても嬉しくなった。

- ・発表会后から、交代ずつで全員揃うことはなかったが、3月になり全員出席し、元気な姿が見られて良かった。

- ・言葉の数が少ないRくんが、簡単な質問に答えてくれた時や、みんなと楽しそうに遊ぶ姿が嬉しかった。

私「外、雨ふってなかった？」 Rくん「あめふっていた」

Rくん「お茶ないよ」等少しずつ単語が増えてきた。

- ・行事やお手伝い、色々なことを経験したことで、

声が小さかったSちゃん、自分の思いをあまり言えなかったTくん自信がつき声も大きくなり、はじけている姿に成長を感じた。



## 【4才児担当保育士】

### 保育士6

・甘えん坊のKくん。発表会の前日、Kくんのお母さんのお仕事がお休みなので「休む？」とたずねられると、「自分の役があるからがんばらないといけない！！」と言い、保育園へ登園！！

しかし、いざ離れるとなると寂しくなったようで、泣き出してしまい...

「じゃあ、休む？」とたずねられると、「頑張りたい（泣）」

家がいい…自分の役頑張りたい、と心の葛藤...

午前中いっぱい保育園で頑張ってくれました！！

責任感が育っていることが見られ、うれしく思いました。



## 【フリー保育士】

### 保育士7

・1歳児の子どもたち、どんどんお話しが上手になってきていて、「せんせい」と呼ぶのが上手になると、次はまたたどたどしいが、「〇〇せんせい」と名前を呼んでくれるようになった。

発音がはっきりせず、聞き取りにくいこともあるが、お話をしたい、伝えたいという気持ちがすごく伝わり、嬉しい気持ちになります。

### 保育士8

・生活発表会のリハーサルに1歳児のMくんがなくて、演技ができないでいた。発表できる力は十分にあるMくんだが…発表会前日、当日本番は頑張してほしいと思いながら

「明日はパパもママも見に来るよ、みんなと一緒にしてね」

と話すと、Mくんは「がんばる」といった通り発表できました。

月曜日の朝、私の顔を見るなり「M、がんばったよ」と報告してくれた。

私もしっかり見届けていますので「よくがんばりました」と一緒に喜びを分かち合いました。